

日本貝類学会平成 29 年度大会 プログラム

会期：平成 29 年 4 月 15 日（土）～16 日（日）

会場：ホテルシーモア（南紀白浜）

4 月 15 日（土）

09:00～ 受付

口頭発表 <座長：狩野泰則>

- 09:45-10:00 **A01** 分子データに基づくカモハラギセルの系統的位置
元陳力昇[○]・上島 励（東大・院・理）
- 10:00-10:15 **A02** ニシキウスガイ科における貝殻の完全な傘型化—ハナザラのウニの巢穴への絶対住み込み共生—
山守瑠奈[○]・加藤 真（京大・人間環境）
- 10:15-10:30 **A03** ハクサンマイマイ種群の系統関係
宮井卓人[○]（長浜バイオ大、信州大）・鈴木 武（兵庫県人と自然の博物館）・高田良二（西宮市貝類館）・浅見崇比呂（信州大）・和田修一（長浜バイオ大）
- 10:30-10:45 **A04** 地盤沈下と隆起が外来生物サキグロタマツメタに与える長期的な影響について
鈴木聖宏[○]・大越健嗣（東邦大・院・理）
- 口頭発表 <座長：上島 励>
- 10:45-11:00 **A05** コモレビコガモガイ浮遊幼生の着底基質選択性
中山 凌[○]（京大・院・理）・中野智之（京大・瀬戸臨海実験所）
- 11:00-11:15 **A06** MIG-seq 法によって明らかになった琵琶湖での劇的な形態の変化：タニシ科貝類を例として
平野尚浩[○]（東北大・東北アジア研究センター）・齊藤 匠（東北大院・生命科学）・中井克樹（滋賀県立琵琶湖博物館）・綱本良啓（東北大・農）・陶山佳久（東北大・農）・千葉 聡（東北大・東北アジア研究センター、東北大院・生命科学）
- 11:15-11:30 **A07** 深海熱水性腹足類の幼生鉛直移動：貝殻酸素同位体比解析による推定
矢萩拓也[○]・樋口富彦・白井厚太郎・狩野泰則（東大・大気海洋研）
- 11:30-11:45 **A08** Transcriptomic and proteomic analyses of *Nautilus* shell matrix proteins provide insights into shell evolution in conchiferan mollusks
Davin H. E. Setiamarga (National Institute of Technology, Wakayama College)
- 11:45-12:00 **A09** Oceanography and life-history features drive the phylogeographic pattern of *Acanthochitona* cf. *achates* in East Asia
Yeongheon Shin (Inha University)・Gang Ni[○]・Joong-Ki Park (Ewha Womans University)
- 12:00-13:00 昼 食
- 13:00-13:05 国際シンポジウム <座長/司会：朝倉 彰（京大）・大越健嗣（東邦大）>
挨拶
- 13:05-13:45 **S01** The dangerous mating game of the New Zealand pea crab
Oliver Trottier・Andrew Jeffs[○](University of Auckland, New Zealand)
- 13:45-14:15 **S02** Living together with crustaceans: Evolution and adaptation of symbiotic mollusks
Ryutaro Goto (Kyoto University, Japan)
- 14:15-14:55 **S03** Crustaceans as inhabitants of molluscan hosts: from commensal guests to body-snatchers
Emiliano H. Ocampo (University of Mar del Plata, Argentina)

- 14:55-15:05 休憩
- 15:05-15:35 **S04** Parasitic ecology of *Peregrinamor ohshimai* associated with upogebiid shrimps
Gyo Itani (Kochi University, Japan)
- 15:35-16:15 **S05** The private sex life of crustaceans symbiotic with molluscs: Model systems in behavioural Ecology
J. Antonio Baeza (Clemson University, South Carolina, USA)
- 16:15-16:40 **S06** Effects of a crustacean parasite and a hyperparasite on the oyster *Saccostrea kegaki*
Noriko Yasuoka[○]・Yoichi Yusa (Nara Women's University, Japan)
- 16:40-17:05 **S07** Life history of the commensal pea crab *Arcotheres* sp. living in the bivalve *Barbatia virescens*
Tetsuya Watanabe[○] (Nishinomiya Shell Museum, Japan)・Yasuhisa Henmi (Kumamoto University, Japan)
- 17:15-18:15 ポスターコアタイム (奇数番号)
- 18:30-20:30 懇親会 (6F サンコースト)

4月16日(日)

- 09:00~ 受付
口頭発表 <座長：佐々木猛智>
- 09:30-09:45 **B01** Phylogeography of the mussel *Septifer virgatus* revealed cryptic mitochondrial diversity in the Northwestern Pacific
Yucheol Lee (Inha University)・Gang Ni・Rosa Kim・Jinkyung Shin (Ewha Womans University)・Ryutaro Goto・Tomoyuki Nakano (Kyoto University)・Takenori Sasaki (The University Museum, University of Tokyo)・Joong-Ki Park[○] (Ewha Womans University)
- 09:45-10:00 **B02** 属は常に単系統であるべきか? 「生きている化石」アマガイモドキの例から
狩野泰則^{1,2○}・福森啓晶^{1,2}・神原佑理子¹・菊地宏和²・加瀬友喜³ (¹東大・大気海洋研, ²宮崎大, ³科博・地学)
- 10:00-10:15 **B03** 中生代の木材穿孔性二枚貝 *Turnus* 属タイプ種 (二枚貝綱: ニオガイ上科) の分類学的再検討
水谷亮介・乾 睦子 (国士館大・理工)・芳賀拓真[○] (科博・地学)
- 10:15-10:30 **B04** 貝殻、蓋の形態による日本産カプトウラシマ属 (トウカムリガイ科) の分類学的再検討
木村昭一 (名古屋貝類談話会)
- 10:30-10:45 **B05** 熊本県天草市沿岸から発見されたニューモデルマ科の新属新種
山崎友資[○] (蘭越町貝の館)・峯水 亮 (峯水写真事務所)・中野誠志 (中野誠志写真事務所)
- 10:45-11:00 **B06** 千島列島産の“*Musculus*” *taylori* (Dall, 1897) (Mytilidae, Bivalvia)の属名
栗原康裕 (網走水産試験場)
- 11:00-12:00 総会
- 12:00-13:00 昼食
口頭発表 <座長：木村妙子>
- 13:00-13:15 **B07** 巨大溝腹類サンゴノフトヒモの水槽内での行動観察
徳永幸太郎・小藤一弥 (アクアワールド茨城県大洗水族館)・池澤広美 (茨城県自然博物館)・齋藤 寛[○] (科博・動物)
- 13:15-13:30 **B08** オホーツク海深海帯の貝類多様性: SokhoBio 航海で採集された腹足類から
福森啓晶[○] (東大・大気海洋研)・長谷川和範 (科博・動物)・狩野泰則 (東大・大気海洋研)
- 13:30-13:45 **B09** 形態データの3D化と軟体動物学への応用

佐々木猛智^{1○}・前川 優¹・竹田裕介²・厚芝真希²・Chong Chen³・野下浩司⁴・上杉健太郎⁵・星野真人⁵ (¹東大・総合博,²東大・理,³海洋研究開発機構,⁴JST さきがけ・東大・農,⁵高輝度光科学研究センター)

- 13:45-14:00 **B10** 紀州貝類研究史概観
知野光雄[○] (川崎市)・江川和文 (有田市)
- 14:00-14:15 **B11** 静岡県で発見されたカタドブガイ
内野 透[○]・吉成 暁・鳥居高明・中村匡聡 (いであ株式会社)
- 14:15-15:15 ポスターコアタイム (偶数番号)
口頭発表 <座長: 石田 惣>
- 15:15-15:30 **B12** 貝類の生物的指数を用いた干潟の環境評価手法
木村妙子[○]・村山 椋・木村昭一 (三重大・院・生物資源)
- 15:30-15:45 **B13** 山口県日本海域における食用巻貝類、および食中毒を起こしうる巻貝類について
堀 成夫^{1○}・河野光久²・園山貴之³・國森拓也²・荻本啓介³・椋木博昭¹ (¹萩博物館,²山口県水産研究センター外海研究部,³下関市立しものせき水族館 (海響館))
- 15:45-16:00 **B14** Microtunnel system for gas exchange is present in every genus of Alycaeidae (Caenogastropoda: Cyclophoroidea)
Páll-Gergely Barna[○]・Josef Harl・Takahiro Asami (Shinshu University)
- 16:00-16:15 **B15** キヌハダモドキの性的共食いは進化的安定戦略(ESS)だった
小薮圭太 (東京海洋大・館山)・関澤彩真 (東北大・農)・中嶋康裕[○] (日大・経済)
- 16:15-16:30 **B16** 木登りカタツムリはなぜ木に登る? ~樹上生活性が進化した適応的意義~
佐伯いく代[○] (筑波大)・丹羽 慈 (自然環境研究センター)・長田典之 (北大)・兵藤不二夫 (岡山大)・太田民久 (総合地球科学研究所)・大石善隆 (福井県立大)・日浦 勉 (北大)

ポスターセッション (コアタイム・奇数番号: 15日 17:15-18:15、偶数番号: 16日 14:15-15:15)

- P01** Phylogeography analysis of *Japeuthria ferrea* (Caenogastropoda: Buccinidae) in Japan
Nazifa Naziha bt. Razali[○]・芝 玲奈 (和歌山高専)・照屋清之介・佐々木猛智 (東大・総合博)・Davin H. E. Setiamarga (和歌山高専)
- P02** 熊野灘沿岸より採集された日本新記録属・種ガンガゼトゲジラミ (ハナゴウナ科)
木村昭一[○]・加藤 葉・大西はるか・山中太陽 (三重大・院・生物資源)
- P03** 岐阜県大垣市のペルム紀赤坂石灰岩から産するアラトコンカ科二枚貝 *Shikamaia* 属の分類と層序分布
安里開士[○] (筑波大・院・生命環境)・加瀬友喜 (科博・地学)・小野輝雄 (岐阜県瑞穂市)
- P04** Unravelling the evolutionary history of the Octopodiforms through mitochondrial phylogenomics: a progress report
Davin H. E. Setiamarga (National Institute of Technology, Wakayama College)
- P05** 同一系統内に生じる対照的な殻形態の2型: バテイラ科貝類の例
山崎大志[○] (東北大・院・生命)・平野尚浩 (東北大・東北アジア研究センター)・三浦 収 (高知大・農林海洋科学部)・千葉 聡 (東北大・院・生命)
- P06** 琵琶湖のマメシジミ類
家山博史 (愛媛県)
- P07** 和歌山県日高町における浅海性砂底域の貝類相
寺本沙也加[○] (東邦大・理)・照屋清之介 (東大・総合博)・池辺進一 (和歌山県)
- P08** 国内各地のアサリ漁場における貝類群集の多様性と底質環境

- 高田宜武[○]・内田基晴・手塚尚明・辻野 睦・丹羽健太郎・黒木洋明・石樋由香・渡部諭史（水産研究・教育機構）
- P09** 西日本産カワザンショウ属 2 種の殻形態に基づく簡便な識別方法の提案
若林瑞希[○]・小山彰彦・鬼倉徳雄（九大・生物資源環境科学）
- P10** 棘皮動物特異プライマーを用いた漸深海性ハナゴウナ類の宿主同定
高野剛史[○]・伊藤 萌・狩野泰則（東大・大気海洋研）
- P11** 生殖周期と成長肋の関係が導くエゾキンチャクガイ（二枚貝: イタヤガイ科）における性的二型と形成メカニズム
吉村太郎（慶応大・経済）
- P12** ハンミガキマイマイ伊平屋島北端個体群の殻口は歪んでいるのか？
大貫貴清（東海大・海洋）・早瀬善正[○]（東海アクアノーツ）
- P13** A preliminary report on the results of DNA Barcoding analysis of shelled marine gastropods in Nada coastal area in Wakayama
中路 渚[○]・岩本尚真・芝 玲奈・Nazifa Nazifa bt. Razali・中島理子・上山隼平・上戸悠生・友瀨直人・平野廣佑（和歌山高専）・照屋清之介・佐々木猛智（東大・総合博）・Davin H. E. Setiamarga（和歌山高専）
- P14** 北海道日高沖から採集されたシロウリガイ類
沼波秀樹[○]（東京家政学院大）・奥谷喬司（川崎市）・戸丸 仁（千葉大）・小林武志（東京海洋大）・松本 良（明治大）
- P15** 貝殻成長線解析による 2015 年 9 月の豪雨と洪水が福島県松川浦のアサリの成長に与えた影響の検討
藤島花奈子[○]・鈴木聖宏・大越健嗣（東邦大・院・理）
- P16** イギリス海軍測量艦 HMS Sylvia 号の調査航海によって明治初期に日本周辺から記載された貝類
長谷川和範（科博・動物）
- P17** Molecular systematics of the Japanese buccinid snails, *Japeuthria ferrea*, *Japeuthria cingulata* and *Sealesia modesta* (Neogastropoda: Buccinoidea)
友瀨直人[○]（和歌山高専）・Nazifa Nazifa bt. Razali・照屋清之介・佐々木猛智（東大・総合博）・Davin H. E. Setiamarga（和歌山高専）
- P18** 大阪湾から採集されたシロタエミノウミウシ属の一種 *Tenellia adspersa* について
柏尾 翔[○]（きしわだ自然資料館）・濱谷 巖（大阪府）
- P19** トカラ列島の海産貝類相
照屋清之介[○]・酒井理恵・佐々木猛智（東大・総合博）
- P20** 各地の牡蠣はどこで売られているか
石田 惣（大阪市立自然史博物館）
- P21** 日本近海産カガミガイ属の分子系統解析
瀬尾友樹[○]・ジン タナンゴナン（近大・院・環境管理）
- P22** 田辺湾の磯 20 年（3 回の生物相調査から）
大和茂之（京大）・竹之内孝一[○]（奈良市）
- P23** 農業用排水路における淡水魚類およびイシガイ類の保全
梅本健琉（清風高等学校生物部）
- P24** 深海湧水域産オウナガイ類の成長に伴う殻形態の変異と内部形態
瀬尾絵理子[○]（東大・大気海洋研）・奥谷喬司（海洋研究開発機構）・瀬尾芳輝（獨協医科大）・小島茂明（東大・大気海洋研）
- P25** スクミリンゴガイにおける侵入後経過年数による性比の違い
熊谷菜摘[○]・遊佐陽一（奈良女子大・院）
- P26** 琉球諸島で発見された日本初記録の後鰓類 2 種の報告
中野理枝^{1,2○}・酒井理恵^{2,3}・細 将貴⁴（¹黒潮生物研究所,²NPO 法人全日本ウミウシ連絡協議会,³東大・総合博,⁴京大・白眉センター）

学生最優秀発表賞

日本貝類学会では、大会時の学生による優秀な発表（口頭およびポスター）に対して学生優秀発表賞（原則1件）を授与しています。本大会では、学生による発表はすべて大会1日目の15日に行い、懇親会の時に結果を発表する予定です。研究内容やプレゼンテーション力などを総合して審査を行います。学生の皆さん、頑張ってください。